

広島サミット県民会議第1回総会 次第

日時 令和4年7月21日（木）15時20分～

場所 グランドプリンスホテル広島2階 瀬戸内

1 開会

会長挨拶

2 議題

広島サミット県民会議事業実施基本方針（案）について

3 報告事項

ドイツサミット開催地の視察報告について

4 閉会

【配付資料】

第1号議案：広島サミット県民会議事業実施基本方針（案）

資料1：G7ドイツサミット視察の概要

第1号議案

広島サミット県民会議事業実施基本方針（案）

1 基本的な考え方

G7サミットの広島開催は、ウクライナ情勢が緊迫化し、核兵器使用のリスクへの懸念の高まりとともに、人類存続の危機に陥りかねないという不安が世界中に広がる中、G7各国が、世界の平和と持続的な発展に向けた対話の場所として広島の地を選んだことは「国際平和文化都市」としての広島の発信力を重視したことの表れであり、広島から力強い平和のメッセージを世界中に発信し、核兵器のない真に平和な世界の実現に向けた機運を高める取組を行う必要があります。

また、G7サミットは世界中の多くの人々の注目が集まり、広島の魅力を世界に発信する絶好の機会でもあります。

このため、2つの世界遺産のみならず、広島の発展を支えた活力溢れる産業、豊かな自然、多彩で美味しい山海の食資産、歴史が紡いできた文化や暮らしなど、多くの魅力を世界に発信し、広く注目を集め、広島を訪れる、あるいは選んでもらえる契機としていかなければなりません。

こうした観点も含めて、参加する各国首脳や代表団、その他の多くの来訪者、さらには参加者等をお迎えする市民、県民にとっても「広島に来てよかった」「広島で開催されてよかった」と思っただけのような、広島サミットの成功を目指します。

この目的を達成するため、以下の5つの柱に基づき、サミット開催に向けた全県的な取組を展開します。

2 基本方針

(1) 安全、安心で円滑なサミットの開催を目指します。（開催支援）

関係省庁や警察、医療機関など関係機関との調整を進め、コロナウイルス感染症への対応も含め、サミットを安全、安心かつ円滑に開催できる環境を整えるよう全県を挙げて支援します。

(2) 市民・県民の誇りである広島らしさを感じていただきます。（おもてなし）

サミットの開催に向けて県内の歓迎機運を高め、サミットに参加する各国首脳とその関係者や国内外の報道関係者、サミットを契機に広島を訪れる方々に対して、県内市町や経済団体、さらにサミットに関わる人々等、幅広い主体が連携したオール広島で、SDGsの理念にも対応しながら、特別な広島とありのままの広島のそれぞれを実感できる、広島ならではのおもてなしでお迎えし、その結果、訪れる方のすべてに広島ファンになっていただきます。

(3) 「ヒロシマの心」を世界に向けて発信します。（平和の発信）

各国の首脳や報道関係者など、世界中から被爆地広島を訪れる多くの方々に、被爆の実相に直接触れていただく機会を提供することで、核兵器の恐ろしさに理解を深めていただくとともに、核兵器のない平和な世界を希求する「ヒロシマの心」を世界中に発信します。

あわせて、被爆の惨禍から目覚ましい復興を遂げた広島だからこそ感じられる、平和による

繁栄のメッセージも届けます。

(4) 県民市民によって磨き上げられた広島を世界に発信します。(広島の魅力の発信)

2つの世界遺産と1つの世界無形文化遺産をはじめ、活力あふれる産業やスポーツ・文化、多彩で美味しい山海の食資産、神楽等の伝統と豊かな自然が融合した文化など、先人たちが築き上げてきた広島の多くの魅力を世界に発信します。

(5) サミットの成果を未来につなぎます。(ポストサミットを見据えた若者の参画)

G7の首脳が直面する国際社会の諸課題について対話を行うサミットに関連する様々な取組に、未来を担う若者が関わる機会を提供することで、若者の国際感覚やチャレンジ精神を涵養します。また、国際問題に関心を持ち理解を深めた若者たちが今後の広島の担い手として自発的な行動を起こすことを後押しすることで、サミットの成果を未来につなぎます。